

当面ご議論いただきたい事項

検討事項	検討事項の具体的内容
①ユーザーに対する適切な情報提供の在り方	NanoTerasuが提供する価値を、顕在的・潜在的なユーザーそれぞれに対して、効果的に提供する方法（④とも関係）
②ユーザーのニーズに柔軟に対応できる施設の管理運営の在り方	社会情勢が変化中、顕在的・潜在的なユーザーのニーズを把握し、施設運営・価値の提供に生かすための仕組み・体制（⑤とも関係）
③ユーザー支援人材の確保と育成	2024年度の運用開始に向けた人材の確保や、将来の施設運営や価値の提供を担う若手人材の育成・確保（⑥とも関係）
④国内外へのアウトリーチの在り方	官民地域パートナーシップとして、産学官のユーザーのみならず、社会全体への認知向上や施設の波及効果を発信する方法（①とも関係）
⑤国及びパートナー間の適切な役割分担と連携の在り方	ユーザーのニーズや提供する価値を踏まえ、QSTとパートナー（PhoSIC、宮城県、仙台市、東北大学、東経連）の役割分担と連携の仕組み・体制（②とも関係）
⑥効率的かつ効果的な段階的な運用開始の在り方	安全・安定性を前提としつつ効率的・効果的に運用し継続的に成果を創出するために段階的に運用を開始する方法（③とも関係）
⑦研究成果の最大化に向けた利用制度（適切な利用料金の設定を含む。）の在り方	ユーザーのニーズや提供する価値を踏まえた利用の枠組み・料金の設定方法等
⑧国及び地方の他機関並びに他施策との効果的な連携の在り方	産学官金・地域が連携したイノベーションコミュニティの形成を加速せ、異分野融合、イノベーション創出、社会課題解決への貢献等を推進していくための仕組み・体制
⑨施設の将来的な発展の方向とビジョン	ビームラインの増設や高度化、データセンター、研究DX対応など施設のポテンシャルを活かした高度化・拡充の方向性や、施設自体のライフサイクルも見据えた施設の在り方。また、様々なステークホルダーが関わる中で、共通として目指すべきビジョン。